

【CL名】武田さん 【解答者】アオちゃん 【作成日】2023年10月7日 【作成時間】30分

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

リモートワークでは自分のペースで快適に仕事できていたが、半年前にほぼ出社に変わり、仕事に関係ないコミュニケーションを快く思えず、出社を喜んでいる人たちを見るとモヤモヤする。

【設問2】1行目：良かった点、2行目：悪かった点 この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) しくりない気持ちやモヤモヤする気持ちを丁寧に聴き、信頼関係ができてきた点。  
(悪) 以前の会社で働いていたときのお気持ちや転職に対する考えを同様の時間が足りなかった点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 今後どのような仕事をしたいかという価値観の自己理解不足と、職場の方たちとのコミュニケーションの必要性や会社から求められるコミュニケーションに関する仕事理解不足。

②その根拠 「やりたいことがわからない」とも「それなりに感じ」、「生活のために働かないといけない」から自己理解不足、「(リモートワークは)邪魔じゃない」、「そういう話をしたせいでリモートワーク賛成」、「時間もお金ももたない」、「なんだろう、この時間」から仕事理解不足。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

半年前に働き方が変わってしくりない相談者に寄り添い、引き続き信頼関係の構築に努める。以前の会社での経験も含めてこれまでの仕事・働き方を振り返り、どのような場や働き方が自己理解を深めていたか。職場でのコミュニケーションについて内省を促し、自身の仕事を進める上での必要性や、コミュニケーションに対する会社の方針について理解を促す。必要に応じて、上司との面談機会を提案し、仕事理解に助かいたか。これにより、相談者が、自身に合った働き方で働けるよう、主体的な意思決定ができるよう支援したい。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述)解答用紙